（別紙４）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ま～ぶる・び～と			
○保護者評価実施期間	2026年1月13日		～	2026年1月28日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	2	（回答者数）	2
○従業者評価実施期間	2026年1月20日		～	2026年1月28日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	2	（回答者数）	2
○訪問先施設評価実施期間	2026年1月13日		～	2026年1月26日
○訪問先施設評価有効回答数	（対象数）	2	（回答数）	2
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	仙台市のみならず、他の自治体地域においても活用させていただいていることで、他自治体の取組で良い点を取り入れることができる事や多くの相談支援専門員とのやり取り、アドバイス等を受けられている点である。地域特性や資源の考え方等も事業所単体の思考だけではなく、多角的に見て活用して頂けると考えている。	医療との連携を行っている・これにより先方での運動面、食事や食具・姿勢などのアドバイスも的確にできるようになっている。	行政や相談支援専門員等との連携を図り、運営していく方向である。
2	専門職である【作業療法士】を配置、現場の困り感を初回からイメージ出来る事と仙台市内にある歯科医との連携を図り、年齢や発達段階に合わせた、個々の摂食に関しての注意喚起等も出来るようになった点である。	開所当時より、本人・施設側にとって本当に必要なサービスかどうかを導入前にしっかり検証してからサービスの開始をしている点である。（必ず事前に実調を行ってからの申請手続き）これは、**仙台市ルール**として他の自治体でも弊社は運用継続中である。	後進の指導が急務であったが、法改正により、OJTがしずらくなった。地域資源が充実してきているため、支援の仕方等を再度見直ししていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	昨年同様に、振り返りの時間を先方に合わせすぎているため、数多く訪問回数をとることができない状況である。・振り返りの時間を見直すことで解消できると考えている。	支援時間と振り返りの時間を分離しない方法を検討しなくてはならない。午前中に支援を行い、夕方に振り返り（行き帰りの時間）を含めると、１日１件となる場合もある。地域支援を活用できる地域においては、移行することも可能だが、資源がない地域はどのように対応すべきかが課題。	双方の都合ではなく、支援を提供している側に合わせていただくことも必要ではないかと考える。また、資源がない地域においてどのように支援を提供するかは、自治体との協議も必要である。
2	保育所等訪問支援における、必要性に関しての差	他の自治体では現状も【とりあえず付けておきます】というぐらいの保育所等訪問支援で、支援先の方も来るならどうぞというスタンスである。必要性を感じていない現場や保護者様もとりあえず困っていると思うから行って欲しいなど、考え方の相違が今でも現場ではある。	保育所等訪問支援事業を知らない施設・学校・関係機関があるため、いかに周知徹底を図るかを検討。